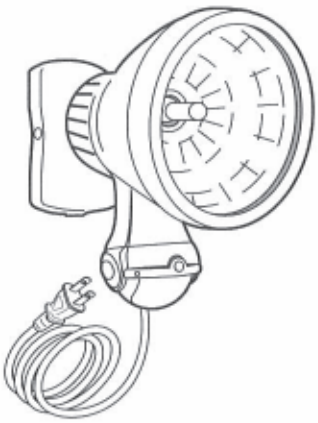
LA-10 PRO 取扱説明書（保証書付）

販売店様・工事店様へ
LA-10 PROの設置が終わりましたら、この取扱説明書をお客様にお渡しいただきますようお願いいたします。



・この度はLA-10 PROをお買い上げいただきましてありがとうございます。

・お取り付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

・この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

・この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

特長 …… 1
はじめに …… 2
安全にお使いいただくために …… 2

1 お使いになる前に …… 3
各部の名称と付属品 …… 3
設置場所を決めるときのご注意 …… 3

2 本体を設置する …… 4
本体の取付方法 …… 4
電球の取付方法 …… 6
ライト部の角度調整方法 …… 7
検知エリアの設定 …… 7
動作テスト …… 9
各ボリュームの設定 …… 9
連続点灯モードの設定 …… 10

3 「おかしいな…」と思ったら …… 10
動作表示灯の見かた …… 10
思ったように動作しないときは …… 11

4 メンテナンス …… 12

仕 様 …… 12

特 長

●配線工事不要で簡単取り付け
電源はプラグをコンセントに差し込むだけ。壁面設置はもちろん、柱やポールを挟み込んで取り付けるバイス付きなので、取付けしやすい構造です。

●消し忘れの心配がなく省エネ
人がいなくなってから一定時間が過ぎると自動的に消灯しますので、消し忘れがなく経済的です。

●85Wで100W相当の明るさを実現！
省エネタイプの85W電球を採用。ただし明るさは100W相当なので少ない消費電力で充分な明るさを確保できます。

●自由自在の角度調整
ライトとセンサの角度が個別に調節できます。
また、センサ部は上下、左右に独立してエリア設定が可能な二軸構造を採用。より正確なエリア設定が可能です。

●作業灯に便利な連続点灯機能付き
ライトが点灯し続ける「連続点灯機能」付き。カーポートや物置、庭での作業などに便利です。

●明るさを感じる『照度センサ』内蔵
周囲の明るさを自動的に判別する『照度センサ』を内蔵。昼間は点灯せず、夜間のみの点灯が可能です。

●安心のSマーク取得
国内外から信頼を得た第三者試験認証機関により、電気用品安全法適合製品として認証を受けたことを示すマークです。

●屋外でも安心の防雨タイプ
直接雨がかかっても影響を受けない防雨タイプ（JIS防噴流型IPX5）なので、屋外にも安心して設置いただけます。

●大型ミラーで電球交換が簡単
大型ミラーの採用により、灯体が邪魔にならず容易に電球交換を行うことができます。

はじめに

■絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解の上、本書をお読みください。いろいろな絵表示をしています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

⃠記号は禁止を示しています。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。
図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

安全にお使いいただくために

警告

	燃えやすい物の近くで使用禁止	燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。昼でも本体に布や紙などがかぶさると点灯しますので、火災の原因になります。人がいなくてもセンサで点灯することがありますので、特にご注意ください。
	取り付け方法を守る	本書にしたがって正しい方向に取り付けてください。取り付けには方向性があります。安全のため必ずネジで固定してください。バイスによる固定のみの場合、荷重をかけると器具落下によるけがの原因になります。
	取り付け場所に注意	温度の高くなる物の上に取り付けないでください。ガス機器やその排気口の上に取り付けないでください。火災の原因になります。
	電気工事は専門家に依頼	電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。火災、感電、器具落下によるけがのおそれがあります。
	異常なときは電源プラグを抜く	万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してから、販売店、工事店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
	感電注意	濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください(雨などで濡れているときも触らないでください)。 電球の交換、清掃は、電源プラグを抜いてから作業してください。感電の原因になります。
	火傷注意	電球は高温になります。本体を触るときは電源プラグを抜き、必ず電球が冷めていることを確認してください。火傷の原因になります。
	分解・改造の禁止	分解・改造は、危険ですのでおやめください。また、指定以外の電球や取付部品を使用しないでください。火災、感電の原因になります。

注意

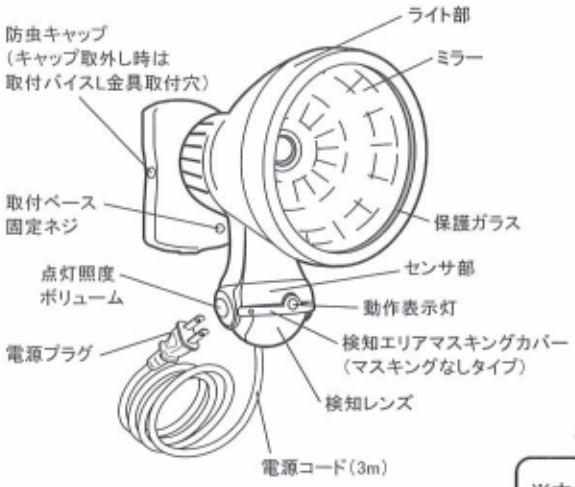
	水や湿気の多い所での使用禁止	この製品は防噴流構造(IPX5)になっていますが、風呂場などの湿度の高い場所、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。またホースなどで故意に水をかけないでください。火災、感電の原因になります。台風などの暴風雨の際には直接風雨が当たらないように注意してください。器具落下、故障の原因となります。
	100V以外での使用禁止	必ず交流100Vで使用してください。交流100V以外で使用すると、火災、感電の原因になります。
	定期清掃点検の実施	適正の明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、工事店、電気店(有資格者)に修理を依頼してください。施工、保守点検、電球交換の際には手袋等の保護具を着用してください。保守点検、電球部品交換の際には電源を切ってから製品が充分に冷えるまで待ってください。電源プラグを差し込んだままにしますと、たまったホコリにより焼損や火災が発生する恐れがあります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。
	ライトを直視しない	視力を損なう恐れがありますので、点灯中のライトを直接見ないでください。
	ライトにぶら下がらない	ぶら下がったり無理な力をかけないでください。器具落下によるけがのおそれがあります。

1 お使いになる前に

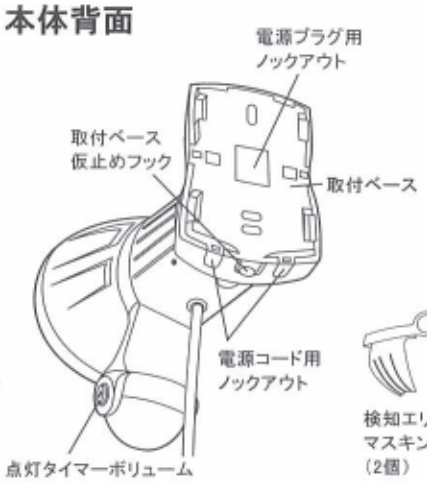
各部の名称と付属品

お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

本体



本体背面



付属品

取付バイス

壁取付ネジ
（2本）

検知エリア
マスキングカバー
（2個）

ボールジョイント
固定ネジ
M4×8（1本）

コンクリート用
スリーブ（2本）

電球（1個）

防犯ステッカー1枚
玄関、勝手口等の外から見えやすい場所に貼ってください。

取付ベース
固定ネジ用
キャップ（1個）

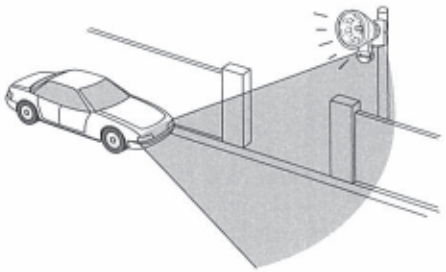
※本体には安全のための警告ラベルが貼り付けされています。
ラベルの記載内容もお読みになり、正しくお使いください。

設置場所を決めるときのご注意

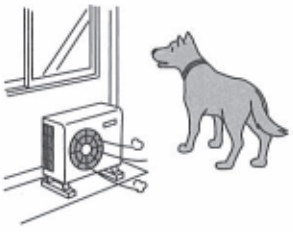
次のような場所に設置すると人がいなくても点灯したり、逆に人がいるのに点灯しなかったりすることがありますので、注意してください。

・検知エリア内に庭木や洗濯物など動く物がある場所

・検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所



・検知エリア内を犬や猫などが通る場所
・近くに換気扇やエアコンの室外機（などの風の影響を受ける）がある場所



・建物脇の通路など狭い場所
・周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がない場所
・地面から1.8m以下の高さに取り付けないでください
・検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
・ガラス越しは透明でも検知しません
・地面から3mを越える高さに取り付けないでください

・設置後は必ず動作テストをしてください。詳しくは9ページ『動作テスト』を参照してください。
・敷地外でも検知する場合は検知エリアを調整してください。
・この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。
・センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。

設置場所を決めるときは、安全面も十分に注意してください。

警告

・人や物がぶつからない所に取り付けてください。
・燃えやすい物の近くに設置しないでください。火災の原因になります。
・本体が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
・電源コード（3m）は延長および切断しないでください。電源コンセントまでの距離を考慮して設置してください。

2 本体を設置する

警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。

ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜いて20分以上待ち、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。感電の原因になります。

注意

電球交換の際は、JD110V85Wハロゲン球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因になります。
電源プラグを差し込んだままでの取り付け、および電球交換はしないでください。

電球交換の際は、保護ガラスが外れないように、また本体と保護ガラスの隙間から水が入らないように、しっかりと締め付けてください。電球が割れないように慎重に取り扱ってください。

本体の取付方法

本体は垂直な壁や柱などの取付面と平行に（センサ部がライト部に対して真下に位置するように）取り付けてください。
またライト部が地面に対して水平より下向きになるように取り付けてください。本体が地面に対して逆さまや、斜めや横になるように取り付けますと、人を検知しなかったり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。

取付高さは、1.8m～3mを目安に取り付けてください。センサの特性上、3mを超える高い場所に設置すると検知しにくくなり、点灯しない場合があります。

■壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合

1 取付ベースの仮止めフックをマイナスドライバーなどで解除し、本体から外します。さらに取付ベースのラバーも取り外します。

2 取付ベースを壁や平らな柱などに取り付けます。コンクリートの壁や柱に取り付ける場合は付属のコンクリート用スリーブと付属の取付ネジを、木の壁や柱などに取り付ける場合は付属の取付ネジを使用してください。

警告

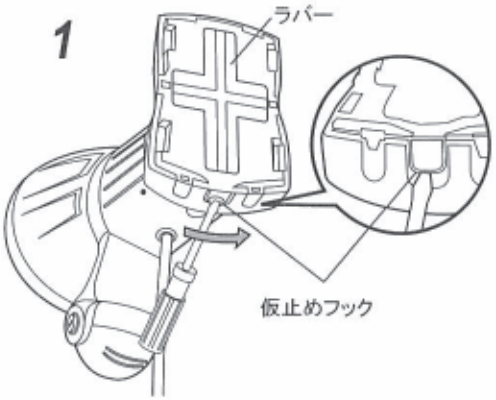
しっかりした壁または柱などに取り付けてください。器具落下によるけがの原因になります。ベニヤ板、モルタルなどに取り付ける場合は、ホームセンターなどで専用のネジを別途お求めください。

注意

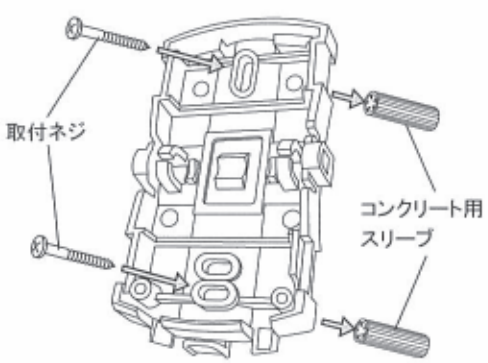
付属のコンクリート用スリーブ使用時は、直径6mmの下穴を開けてください。

仮止めフックを折らないように注意してください。

1



2

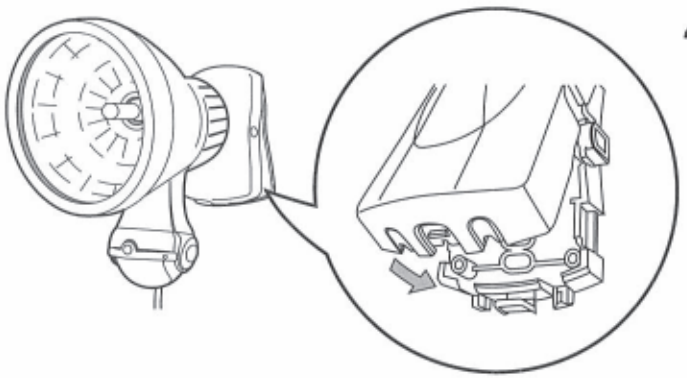


3 取付ベースに本体をはめ込みます。

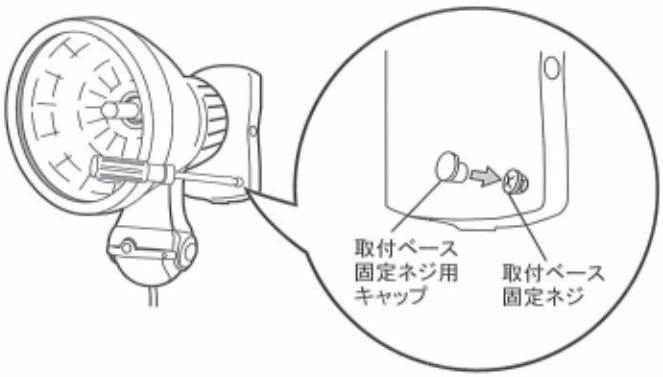
4 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付けて固定し、
取付ベース固定ネジ用キャップをはめ込みます。

警告
取付ベース下部のフックは仮止め用ですので、本体が落下しないよう取付ベース固定ネジをしっかりと締め付けてください。
器具落下によるけがの原因になります。

3



4



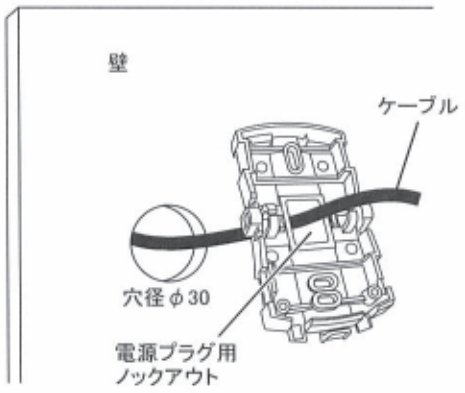
■取付ベース内に配線を通す場合

1 電源コード用ノックアウトのつめを折って本体ベース部に配線を入れてください。

2.1 取付け面に配線を引き込む場合

①取付ベースの電源プラグ用ノックアウト部分に穴をあけ、電源コードを通してください。

②取付面にあらかじめあけた配線用穴に配線を通してから、壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合を参照して、取り付けてください。



2.2 ベース部で配線を固定する場合

①1とは反対側の電源コード用ノックアウトのつめを2箇所折って配線を入れてください。

②壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合を参照して、取り付けてください。

■ポールなどに取り付ける場合

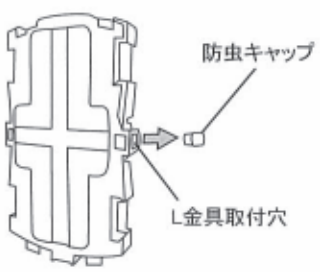
1 取付ベースの仮止めフックをマイナスドライバーなどで解除し、本体から外します。

2 さらに取付ベースの防虫キャップも取り外し、付属の取付バイスのL金具をL金具取付穴に奥までしっかり差し込みます。

3 蝶ナットを手でしっかりと締め付け、ポールや柱などに固定します。強く締めすぎると、L金具が壊れる場合がありますので、工具などは使用しないでください。

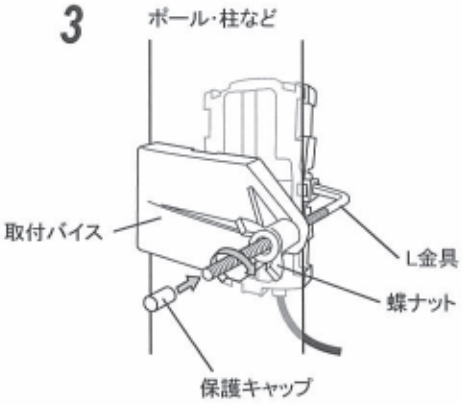
4 取付ベースに本体をはめ込みます。

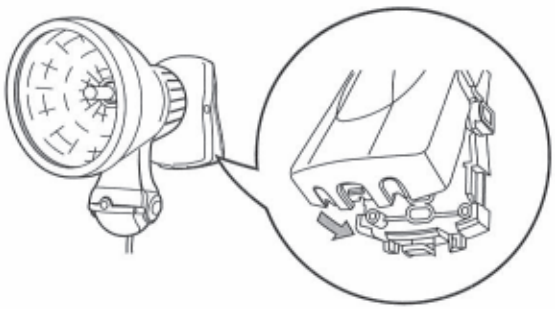
5 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付けて固定し、取付ベース固定ネジ用キャップをはめ込みます。

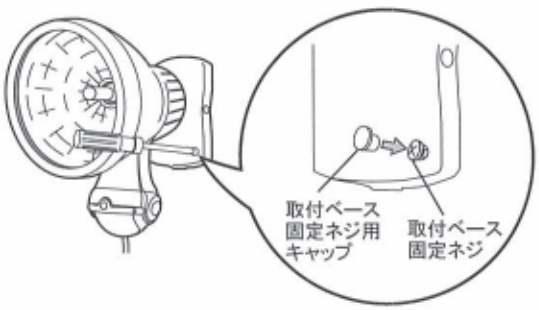


警告 しっかりとしたポールなどに取り付けてください。器具落下によるけがの原因になります。付属のネジで取り付けできない場合は市販のネジを別途お求めください。

付属の取付バイスでの取付幅は、丸柱の場合直径25～80mm、角柱の場合25～100mmです。
それ以外の取付幅のポールや柱への取り付けには、市販のステンレスバンド（バンド幅10mm以内）を電気材料店やホームセンターなどでお求めください。





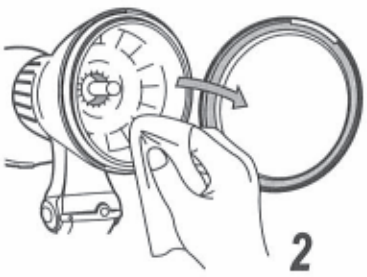


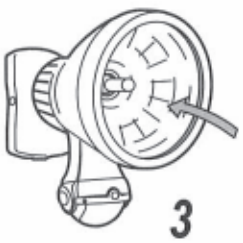
電球の取付方法

1 保護ガラスを左に（反時計回り）回して外してください。

2 付属の電球をソケットにしっかりとねじ込んでください。電球は直接手で触らず、ハンカチなど乾いた布などで持ってください。

3 保護ガラスを右に（時計回り）回して、ライト部にしっかりと装着してください。





交換電球（85W電球）の一例
- ウシオ電機（株）／JD110V85WHEP
- パナソニック（株）／JD110V85W・NP/E
- 三菱電機オスラム（株）／JD110V85WNE

ライト部の角度調整方法

警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。
火災の原因になります。

ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜いて20分以上待ち、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。

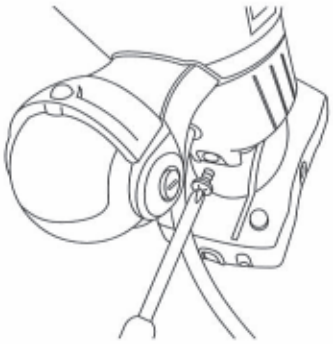
1 ライト部の角度を調節します。
ボールジョイント構造によりライト部は上下左右に動きます。
ライト部の角度調整の際は、センサ部がライト部に対して真下に位置するように調整してください。
またライト部が地面に対して水平より下向きになるように調整してください。

2 本体下部（ボールジョイント付近）からボールジョイント固定ネジ（M4×8）にて締付けてください。

ボールジョイント固定ネジを締め付ける際は、強く締め付けないように注意してください。
ボールジョイントの動きが鈍くなったり、破損の原因となります。

1

2



検知エリアの設定

検知エリアの設定

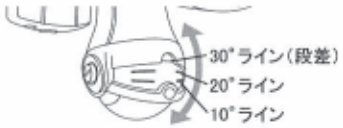
●センサ部の角度調整による設定

センサ部を上下左右に動かすことで、検知エリアを調整することができます。

可動範囲を超える方向に無理に力を加えないでください。破損の原因になります。

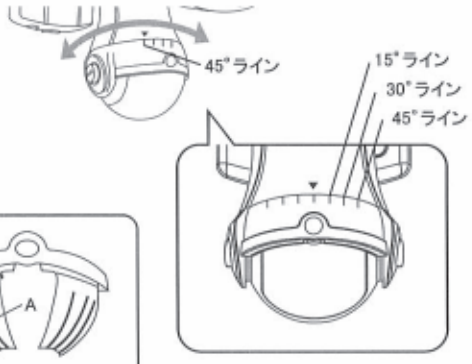
下方向：30°まで可動

30°ライン（段差）を越えないように注意して下さい。



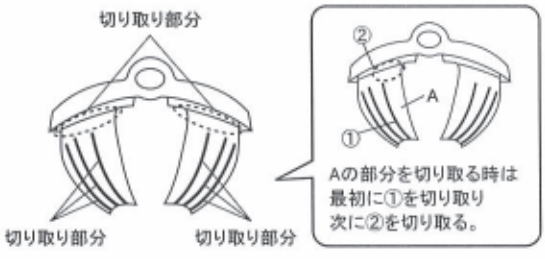
左右方向：各45°まで可動

各45°ラインを越えないように注意して下さい。



●検知エリアマスキングカバーによる設定

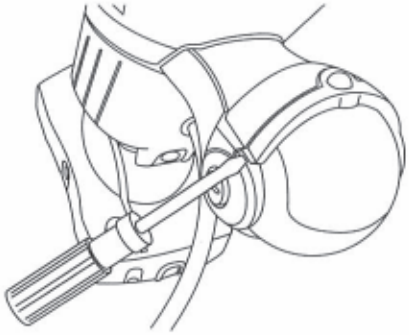
付属の検知エリアマスキングカバーを必要に応じてカッターなどで切り取り、検知レンズ部分に装着することにより左右方向の検知範囲を狭くすることができます。

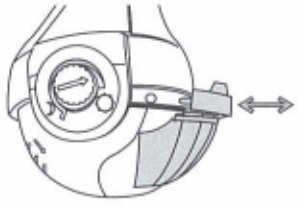


●検知エリアマスキングカバーの外し方

検知エリアマスキングカバーの左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、本体正面に向かって外して下さい。

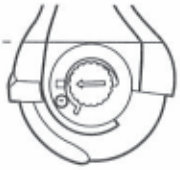
無理に力を加えないでください。器具が破損するおそれがあります。

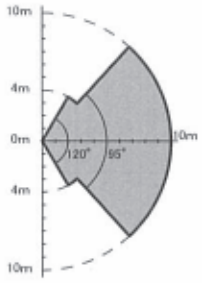
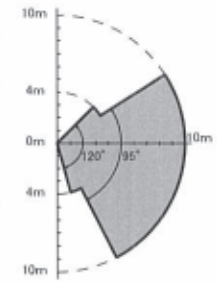
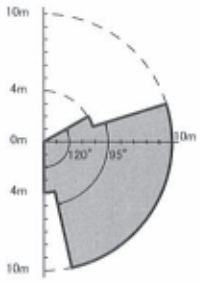
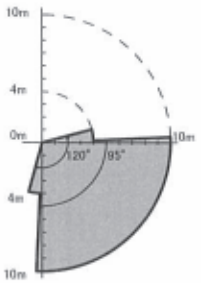


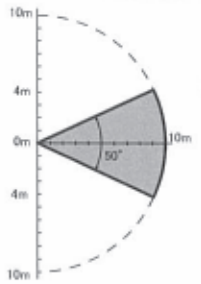


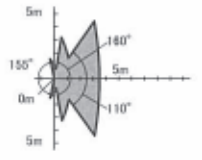
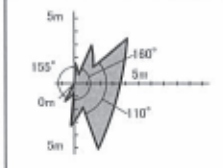
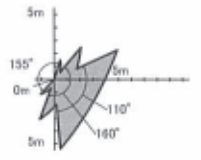
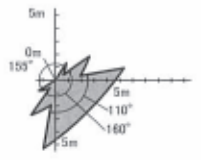
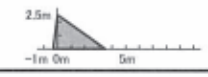
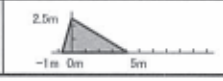
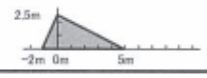
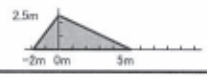
検知エリア図

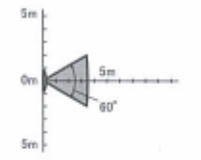
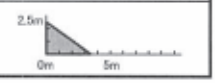
本体が取付高さ2.5m、下に約20°傾けた状態
（センサが地面に対して水平の状態）での検知エリア図です。



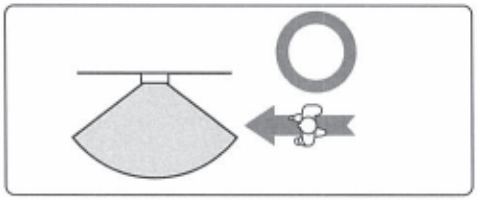
上下方向	0°			
左右方向	0°	右方向15°	右方向30°	右方向45°
平面図				
側面図				

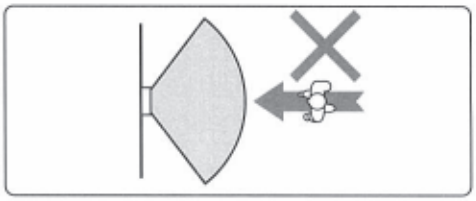
0°
0° （検知エリアマスキングカバー装着時）


上下方向	下方向30°			
左右方向	0°	右方向15°	右方向30°	右方向45°
平面図				
側面図				

下方向30°
0° （検知エリアマスキングカバー装着時）



- この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。
- センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。





- 次のような場所に設置すると人がいなくても点灯したり、逆に人がいるのに点灯しなかったりすることがありますので、くれぐれも注意してください。

検知エリア内に庭木や洗濯物など動く物がある場所
検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所
検知エリア内を犬や猫などが通る場所
近くに換気扇やエアコンの室外機（などの風の影響を受ける）がある場所
建物脇の通路など狭い場所
検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
地面から1.8m以下の高さ
周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がない場所
ガラス越しは透明でも検知しません
地面から3m以上の高さ

動作テスト

設置した後は、必ず動作テストを行い、センサが正しく検知し、電球が点灯することを確認してください。

1 点灯タイマーボリュームを左（反時計回り）に回し「約5秒」に設定します。
「約5秒」は出荷時の位置です。

2 点灯照度ボリュームを右に回し「昼も夜も点灯 ◯」に設定します。「昼も夜も点灯」は出荷時の位置です。

3 ライト照射範囲と検知エリアを設定します。ライト部の角度調整の後に、検知エリアの設定を行います。詳しくは7ページ『検知エリアの設定』、『ライト部の角度調整方法』を参照してください。

4 電源プラグを屋外用コンセントに直接つなぎます。
電源が入った直後は、ウォームアップ（初期安定動作）状態になり40秒程度点灯します。点灯すれば電球と電源は正常です。点灯しないときは電源プラグを抜き、10ページ『「おかしいな…」と思ったら』を参照してください。

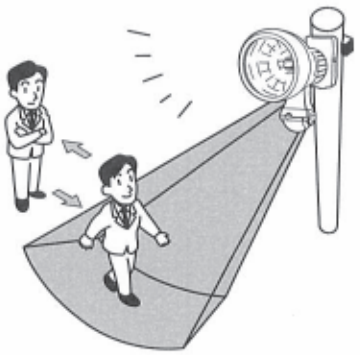
警告

屋内用コンセントは使用しないでください。
また、電源コードは延長しないでください。漏電や火災の原因となることがあります。

ウォームアップ（初期安定動作）について
電源プラグをコンセントに差し込んだときは、人の検知にかかわらず電球が点灯します。これはセンサが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。点灯時間を最長（約5分）に設定したときは、約6分間ライトが点灯します。

5 検知エリアの範囲から離れて待ち、消灯したあと検知エリアの中にゆっくりと入ります。
再び点灯すると、センサは正常です。
再点灯しないときや、点灯後消灯しないときは、10ページ『「おかしいな…」と思ったら』を参照してください。

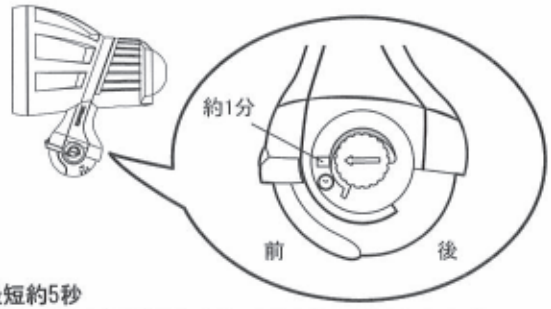
6 動作テスト終了後、各ボリュームを状況に応じて設定してください。



各ボリュームの設定

点灯タイマーボリューム

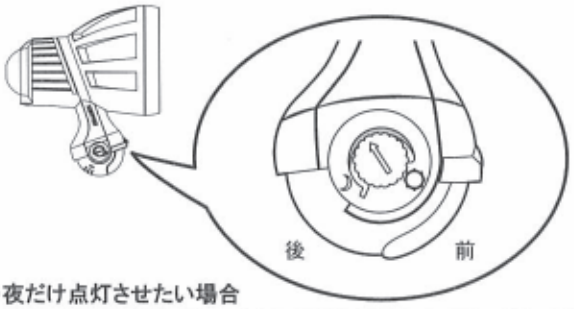
人を検知しなくなってから消灯するまでの時間を「約5秒」から「約5分」までの間で設定できます。
点灯タイマーボリュームを左右に回して設定します。



- **最短約5秒**
（点灯時間を短くするときは、左に回して設定します。）
- **最長約5分**
（点灯時間を長くするときは、右に回して設定します。）

点灯照度ボリューム

昼間など周囲が明るいときは検知エリアに人が入っても点灯しないように設定できます。点灯照度ボリュームを左右に回して設定します。



- **夜だけ点灯させたい場合**
（夜など周囲が暗くなってから点灯させたいときは、左に回して設定します。）
- **昼も夜も点灯させたい場合**
（周囲の明るさに関係なく点灯させたいときは、右に回して点灯します。）

注意

ボリュームをマイナスドライバーで回す場合、回しすぎによる破損に注意して下さい。

連続点灯モードの設定

『連続点灯モード』では、センサの動きを停止して、連続して電球を点灯します。
夜間の作業灯としても使える便利な機能です。

連続点灯モードへの切替

センサ点灯モードで使用中
↓
センサ点灯モードで使用中に電源プラグをコンセントから『①抜く』→『②差し込む』を約1秒以内に行ってください。
↓
切替後、約2秒後に連続点灯します。

連続点灯モードの解除

連続点灯モードで使用中
↓
電源プラグをコンセントから抜き、電源OFF状態になると、自動的にセンサ点灯モードに戻ります。また照度センサにより一旦消灯した場合も、センサ点灯モードに戻ります。

注意

- 連続点灯モードの切替、解除は市販のスイッチを接続することにより、スイッチのON/OFF動作でも行えます。なお、ホタルスイッチは使用しないでください。
- スイッチの接続は電気工事士の資格が必要ですので、電気工事店にご相談ください。

- 点灯照度ボリュームが『夜だけの点灯 ☾』側の位置のときで、周囲が明るいときは「連続点灯モード」に切り替えても点灯しません。
- 点灯照度ボリュームが『昼も夜も点灯 ☼』側の位置のときに「連続点灯モード」に切り替えた場合、「解除」をするまで点灯しつづけますのでご注意ください。
- 点灯照度ボリュームが『夜だけの点灯 ☾』側の位置のときに周囲が暗い場合、「連続点灯モード」に切り替えると連続点灯しますが、その後周囲が明るくなると消灯し「センサ点灯モード」に戻ります。
- ウォームアップ中は連続点灯モードへは切り替わりません。ウォームアップが終了するのを確認してから、連続点灯モードへの切り替えを行ってください。

3 「おかしいな…」と思ったら

動作表示灯の見かた

動作表示灯と電球の点灯／消灯によって、動作の状態と異常がわかります。

動作表示灯	電 球	動作の状態（原因）	対 策
点 滅	消 灯	通電中の正常動作で、人を検知していない状態	正常です
高速点滅	消 灯	照度センサが昼と判定している時に人を検知した状態	正常です
点 灯	点 灯	照度センサが夜と判定している時に人を検知した状態	正常です
		連続点灯モードで点灯している時の状態	正常です
	消 灯	電球が正しくセットされていません	電球をハンカチなどの乾いた布で持ち締め直してください。 電球は高温になります。電球が十分に冷めていることを確認してから作業してください。 詳しくは12ページ『電球の交換』を参照してください。
		電球が切れています	新しい電球に交換してください。電球は高温になります。 電源プラグを抜き、電球が十分に冷めていることを確認してから作業してください。 詳しくは12ページ『電球の交換』を参照してください。
消 灯	消 灯	電源が切れています	電源プラグがコンセントから抜けていないか、また電源コードが途中で断線していないか確認してください。

※動作表示灯は周囲が明るいときに見えにくい場合があります。

思ったように動作しないときは

症状	原因	対策
電源を入れても点灯しない	電球が切れている	新しい電球に交換してください。詳しくは12ページ『電球の交換』を参照してください。
	電球が正しくセットされていない	電球をハンカチなどの乾いた布で持ち締め直してください。 詳しくは12ページ『電球の交換』を参照してください。
人がいるのに点灯しない	人が検知エリアに入っていない	検知エリアを再確認してください。 詳しくは7ページ『検知エリア』を参照してください。
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しないことがあります。 再度動くと点灯します。
	人が正面から近づいている	センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。 できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。
	背景温度と人の温度差が少ない	センサは人の動きにより発生する温度差を検知するため、左記の場合などは、検知しにくい場合があります。
	検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある	センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知範囲の調整または取付場所を変更してください。
	周囲が明るい	照度センサにより周囲が明るいと点灯しません。周囲が暗くなってから再度確認してください。詳しくは9ページ『動作テスト』を参照してください。
人がいるのに消灯する	人が動いていない	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しないことがあります。 再度動くと点灯します。
	点灯時間が短い	点灯タイマーボリュームを右に(時計回り)に回してください。 詳しくは9ページ『各ボリュームの設定』を参照してください。
	検知エリア内に人が入っていない	検知エリアを調整してください。
消灯しない	ウォームアップ時間中である	電源投入後、ウォームアップが働き約40秒間は点灯します。 ウォームアップが終了するまで、検知エリアの外で待機してください。
	あらかじめ設定された点灯時間が長い	点灯タイマーボリュームを左に(反時計回り)回してください。 詳しくは9ページ『各ボリュームの設定』を参照してください。
	検知エリア内に人がいる	検知エリアから離れてください。 離れてから点灯タイマーボリュームで設定した時間後に消灯します。
	連続点灯モードになっている	連続点灯モードを解除してください。 詳しくは10ページ『連続点灯モードの設定』を参照してください。
人がいないのに点灯する	検知エリア内に動く物がある(庭木、洗濯物、道路の車、犬や猫など)	動く物があると、検知して点灯することがあります。また、犬や猫などが検知エリア内を通ると点灯することがあります。取付場所を変更するか、動く物を取り除いてください。詳しくは3ページ『設置場所を決めるときのご注意』を参照してください。
	検知エリア内に熱源や風を出す物がある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物(ヒーターやクーラーの室外機、換気扇など)があると点灯することがあります。取付場所を変更するか、熱源や風を出す物を取り除いてください。詳しくは3ページ『設置場所を決めるときのご注意』を参照してください。
	検知エリアの延長線上に動く物がある	自動車など検知エリアの延長線上を通過すると検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。取付場所を変更するか、検知エリアの範囲を変更してください。詳しくは3ページ『設置場所を決めるときのご注意』を参照してください。

4 メンテナンス

■電球の交換

警告

ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜き、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください。
感電の原因になります。

1 保護ガラスを左に（反時計回り）回して外し、ソケットから電球を外します。

2 新しい電球をソケットにしっかりとねじ込んでください。電球は直接手で触らず、ハンカチなど乾いた布などで持ってください。電球切れの原因となります。

3 保護ガラスを右に（時計回り）回して、ライト部にしっかりと装着してください。

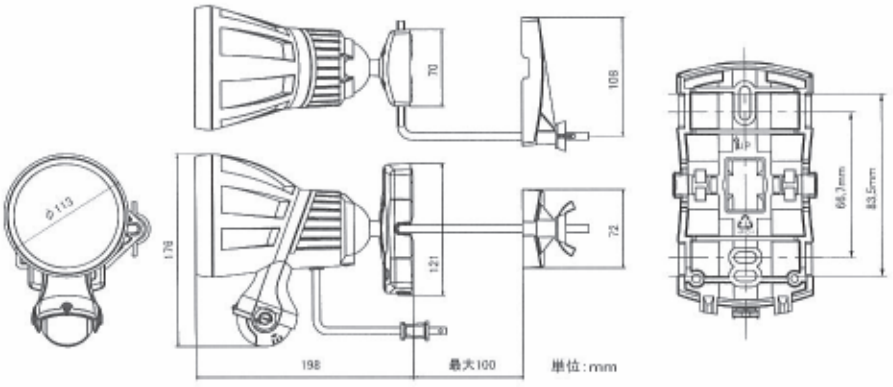
注意

保護ガラスの締め付けが不十分ですと、浸水による破損の原因となりますのでしっかりと装着してください。

■汚れたときは

水洗いはしないでください。本体の汚れは柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。
ベンジンやアルコール、シンナーなどの化学薬品を使用されますと変色、変形、ひび割れを生じる場合がありますので使用しないでください。

■外形寸法図



■仕　様

名　称	センサライト
型　式	LA-10 PRO
検知方式	熱線（パッシブインフラレッド）方式
定格電圧	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	消灯時：1W以下　点灯時：約85W
点灯照度	約5lx～∞可変
使用温度範囲	－20～＋50℃
点灯時間	約5秒～約5分
点灯モード	センサ点灯モード／連続点灯モード　切替
耐水性能	IPX5（防噴流形）
電源コード長	約3m
バイス取付幅	角柱取付時：25～100mm、 丸柱取付時：φ25～80mm
使用電球	JD110V85Wハロゲン球 ※指定以外の電球は使用しないでください
質量（付属品除く）	約940g
付属品	ハロゲン電球1個、取付バイス1組、 取付ベース固定ネジ用キャップ1個、 壁取付ネジ2本、コンクリート用スリーブ2本 検知エリアマスキングカバー2個、 ボールジョイント固定ネジ1本、 防犯ステッカー1枚

※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

LA-10PRO 保証書

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日より1年間
お買上げ店	住　所	〒　TEL.
	ご氏名	
お客様	ご住所	〒　TEL.
	店　名	様

・太字枠内はお買上げ時に必ず記入を受けて下さい。
・記入なき場合、本書は無効となります。
・本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。
・この保証書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。
・この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈保証規定〉

I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
This warranty is valid only for Japan.
3. 電球は除きます。

II. 保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中で（お買上げ日より1年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破損。
3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書と該当製品の提示が無い場合。

オプテックス株式会社

本　　社：〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL (077)579-8630　FAX (077)579-8170
東京営業所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F
TEL (03)3344-5775　FAX (03)3344-5734
http://www.optex.co.jp

10.11　5912796